

人気商品の口コミや評判をチェックするサイト インドアゴルフスクール 評価基準ガイドライン

I. 目的

本ガイドラインは、インドアゴルフスクールの評価を公平かつ多角的に行うために策定されました。本基準を活用することで、利用者がスクールを選ぶ際の参考情報を提供し、透明性と信頼性のある評価を実現します。

II. 評価の構成

総合評価は以下の項目に基づき 5満点 (小数点第1位まで算出)でスコアを算出します。

①Googleレビューのスコア

- Googleレビューの星評価をそのままスコアとして採用します(例：星評価が4.3の場合、スコアは4.3点)
- 口コミ件数に関わらず、星評価のみを使用します。

②口コミを基にした評価

以下の6項目について、口コミ内容を基にスコアを算出します。

1. レッスンの質・効果
2. インストラクター評価
3. 初心者向けサポート
4. 経験者向け評価
5. 施設・サービス
6. 費用・コスパ

※ 口コミ件数が少ない場合の取り扱い

- 口コミを基にした各評価項目について、該当する口コミがない場合、その項目は「該当なし」とし、評価を行わない。
- また、全体の口コミ数が5件未満の場合には各項目の評価は行わず、口コミが集まった段階で、再評価を行う。

III. 口コミを基にした評価項目

1.レッスンの質・効果

- ゴルフスキルの向上や成果に関する言及を重視します。
- 指導内容の分かりやすさや効果の実感についての評価も考慮します。

スコア	条件
5.0	成果に関する具体例が多く、ほぼ全ての口コミで高評価。
4.0	ポジティブな意見が多数だが、一部で改善の要望が見られる。
3.0	賛否が分かれる口コミが多く、平均的な評価。
2.0	否定的な意見が目立つ。
1.0	満足度が非常に低い口コミが多数。

2.インストラクター評価

- インストラクターやトレーナーの技術力、コミュニケーション力、信頼関係の構築などを評価します。

スコア	条件
5.0	コーチングが的確で、利用者からの評価が非常に高い。
4.0	高評価が多いが、一部で指摘や改善点が挙げられる。
3.0	平均的な評価が多く、特筆すべき内容が少ない。
2.0	コーチングの質に対して否定的な意見が目立つ。
1.0	指導に満足していない意見が多数。

3.初心者向けサポート

- 初心者向けの指導や配慮、サポート体制を評価します。

スコア	条件
5.0	初心者向けサポートが手厚く、具体例と共に高評価が多い。
4.0	良い評価が多いが、一部で課題が指摘される。
3.0	初心者対応に関して平均的な口コミが多い。
2.0	初心者対応が不十分、または否定的な意見が多い。
1.0	初心者向けの配慮がほとんどなく、満足度が非常に低い。

4.経験者向け評価

- 経験者にとっての満足度やスキル向上への寄与を評価します。

スコア	条件
5.0	経験者にとっても満足度が高い。
4.0	高評価が多いが、少数の改善点が指摘される。
3.0	経験者向けの評価が平均的。
2.0	経験者にとって満足度が低い。
1.0	経験者にとって全く価値がないとの意見が多数。

5.施設・サービス

- アクセスの良さ、無料レンタルの有無、施設の清潔さや快適さ、スタッフの対応を総合的に評価します。

スコア	条件
5.0	施設やサービスに関して非常に高評価が多い（例:「綺麗で快適」）。
4.0	多くのポジティブな意見があるが、一部で改善点が指摘される。
3.0	賛否が分かれる意見が多い。
2.0	施設やサービスに関して否定的な意見が目立つ。
1.0	設備や対応に関して非常に低い評価が多い。

6.費用・コスパ

- 「費用に対する価値」に重点を置き、コストパフォーマンスを評価します。

スコア	条件
5.0	費用に対して非常に高い満足度が記載されている。
4.0	高評価が多いが、価格に関する軽微な課題が指摘される。
3.0	費用に関して平均的な評価が多い。
2.0	コスパに否定的な意見が目立つ。
1.0	非常にコストパフォーマンスが悪いとの意見が多い。

IV. 総合スコアの算出方法

総合スコアは、Googleレビューのスコアと口コミを基にした6項目の評価の平均値として算出します。

(例) Googleレビュー 4.6、各項目スコアが [4.2, 4.0, 4.5, 4.3, 3.8, 4.0] の場合 ⇒**4.2**

※スコアが算出できない評価項目がある場合には、該当項目を除外し、スコアが算出できた項目の平均値を基に総合スコアを計算します。たとえば、Googleレビューのスコアと、口コミ項目のうち4項目のスコアが算出された場合、これら5項目の平均値を使用します。

V. 最後に

本ガイドラインは、公平性と透明性を保ちながら、利用者がより良い選択をできるように設計されています。評価基準は必要に応じて見直しを行い、時代や状況に合わせた改善を続けていきます。

2025年1月 作成
2025年3月 更新